



呉市役所9階のレストランは、現在レストランとしては使っていません。障害者高齢者雇用と低価格を実現するために障害者高が運営する福祉レストランを提案しました。
※提案しただけで、決定ではありません。

市役所に福祉レストランの提案

ありがとう通信

呉市議会議員
岡崎源太郎

海上自衛隊出身 岡崎源太郎後援会

福祉レストラン

090-2805-4718

ワン切りいただくとかけ直します

ホームページ→

<http://oka.genin.jp>

gentarounet@yahoo.co.jp

gentarounet@gmail.com



【質問文】宇都宮市、堺市、笠岡市、新居浜市で福祉レストランをしています。呉市でも障害者雇用の場としての福祉レストランを活用の一つとしてお考えいただけませんか。

【答弁】働く意欲のある障害者が、その適性に応じて能力を十分に発揮することができるよう、就労を支援し、働く機会を確保を図ることは非常に重要である。他市において、障害福祉サービス事業所が、就労継続支援A型やB型事業所として、市庁舎の食堂を運営し、障害者雇用促進の場として活用されていることは、施設の有効活用、職員や市民への障害者就労に対する理解促進などの効果もあり、有意義な取組であると考えられる。これらの事例やニーズ、可能性などを研究し、障害者の雇用施策の更なる推進を図っていききたい。

【提案】障害者の中には特殊能力を持った方もおられます。他市の福祉レストランですが、常連のお客様70人のお好みのご飯の量を記憶していて、何も言わなくても好みの量のご飯が出てくるところがあります。視覚障害者が魚の固さや弾力、脂の乗りを指先で感じながら精密に包丁を入れると最高に美味しい刺身ができるのではないかと思います。

行政は障害者が社会で活躍できるように作るべきです。9階の食堂だけでなく、道の駅候補のポートピアパークには乙女椿があります。市の休んでいる施設を活かして、障害者が社会に参画できるしくみをつくって下さいますようお願い致します。



中通り活性化の提案

サービス付き高齢者向け住宅の建設で中通りを4000人の町にする提案。

【質問】『くうねるあそびを町内で』が私の提案でございます。国の補助金と税制優遇があるサービス付き高齢者向け住宅で市営住宅同様の建物が中通りでできないかお尋ねします。

【答弁】平成28年に中核市に移行したことで、呉市はサービス付き高齢者向け住宅の登録業務を行っております。

事業実施に当たっては、支援策として、国による建設費の一部補助や住宅金融支援機構による融資、及び県・市による税の軽減が行われておりますが、整備主体はあくまでも民間事業者となっております。現在、呉市には、13棟421戸が整備され、中通地区にも既に2棟61戸が整備されております。

今年度は、2棟137戸の登録申請があるなど、民間事業者がニーズに応じた整備をしているところと認識しております。

【提案】高松丸亀方式はマンション併設店舗にして、住宅売り上げ費用でリノベーションすることです。先ほど申しましたように、中通りが4000人の高齢者中心の町になった場合、1/3は外食されると思います。これだけで、飲食が回ります。アーケードがあるので、雨天でも車椅子で外出できます。ゲートボールの帰りはオープンカフェでゆっくりしてもらおう。余ったクラブサンドは夕方食べる。中通りを庭のように使ってもらおう。中通りをぶらぶらする「中ブラ」と言われるようになることを願います。



☆高松市は大型店舗が通る商店街の活性化策として、丸亀方式の店舗を建て替える。住宅街の活性化策として、丸亀方式の店舗を建て替える。

牡蠣いかだのリサイクル

【質問】呉市は牡蠣生産量日本一です。誇らしい限りです。ただ残念なのは古い牡蠣筏を海岸で焼却処分していることです。美しい海水浴場の隣の海岸は黒くなっています。SDGsに鑑みて、古牡蠣筏リサイクルをして日本一の牡蠣ブランドイメージアップをはかるべきです。ところで本市の牡蠣筏の処分の現状はいかがでしょうか。



GoogleEarth →

【答弁】呉市内では現在約2000台程度のかき筏が使用されており、年間約400台が更新されていると推計されます。古くなった筏は、概ね5年程度で解体され、再利用できるものを除き、フロートやワイヤーは産業廃棄物として処分され、竹は地元の浜などで焼却されております。

【質問】備前市では焼き物燃料に使っています。他市の牡蠣筏リサイクルの現状はいかがでしょうか。

【答弁】備前市にある日生（ひなせ）漁協では、年間約80台の筏を更新しています。古くなった筏の焼却処分は行っておらず、全てをチップ化し、一部を備前焼の燃料として使用しているほかは、近隣にあるバイオマス発電施設の燃料として利用しております。

【提案】阿賀マリノポリスのすべりで牡蠣筏を解体し、そこで炭にすることを提案します。サービスエリアでは竹炭が一袋千円程度で売られています。ご飯を炊くときににおい消しになったりするからです。施設の消臭剤や床下に置いて湿気取りになります。炭は海に入ると牡蠣育成に効果があるそうです。竹は2時間もあれば炭になるので、小学生の炭作り体験、たとえば午前中にドラム缶に竹を詰めると、昼を食べてレクリエーションをしたら、できあがった竹炭を持って帰れます。牡蠣筏の竹炭化を前向きにお考えいただきたくご提案申しあげます。